

“わくわくサポート”たより №18

(福岡市認証 市市1-16号)



NPO法人地域生活・死後事務 安心サポートネット

〒810-0074 福岡市中央区大手門3丁目5番10号 第二井原ビル302号室

Tel: 092-791-3251 Fax: 092-791-3252

(Eメール) chiikiseikatsu_0227@yahoo.co.jp

(ホームページ) <https://chiikiseikatsu-saporto.jimdo.com>

第10回通常総会を終えて

NPO法人
地域生活・死後事務安心サポートネット

理事長 中山千住



今年は、2016年1月に法人設立して10年目に入りました。これもひとえに、日頃より支援ご理解を賜っております皆様方や特別非営利活動法人高齢者・障害者安心サポートネットのおかげと、心より感謝申し上げます。

今年は、約800万人とも言われている団塊世代が75歳となる2025年に入りました。介護・医療・年金等の社会保障費の増大や労働人口の減少など、予想された問題ではありますが、解決するにはきわめて困難な局面に入っています。

ところで、昨年度の当法人の活動では、死後事務処理や家財処分その他、さらに、わくわくサポート会員への日常生活を支援する活動に注力してきました。これらの活動を通して、多くの方々に高い評価を得ることができたと自負しています。しかしながら、当法人も高齢化の波に抗うことは出来ず、会員それぞれの身体機能に応じた適正な作業方法を見つけ出して対応することが望まれます。そこで、重労働を余儀なくされる作業では、身体への荷重負担を軽減す

ることを目的として、アウトソーシングを取り入れました。これは人手不足の解消にも大いに寄与することとなりました。今年度の主な活動として、事業計画に記していますが、具体的には、①重労働を余儀なくされる廃棄物処分作業等では、アウトソーシングを広く活用して、作業従事者の身体への荷重負担を軽減するとともに健康保持管理に資することとします。②家財等処分作業は広域的に及んでいますが、自治体毎に廃棄処理方法が異なりますので、これらを調査・整備します。このマニュアルを全員が共有して、適切で迅速な廃棄物処理作業が期待できます。③各地区の福祉協議会等への出前講座を利用して、当法人の活動を広く周知して、高齢者等への生活支援を拡充して行きたいと思っています。

現在、企業の定年延長や労働力不足の社会環境においては、ボランティア要員を確保することが困難な状況にあります。当法人として、これからも息の長い活動を維持するために、高齢会員でも継続して支援活動に従事できるような業務組織体制を早急に構築することが求められています。高齢者の方々が日常生活を送るに当たり、安心や安全をさらに豊かさも感じられるように、これまでに培ってきた、知識や経験を生かして、これらの方々への日常生活支援活動に邁進したいと思います。皆様方の一層のご支援とご協力を重ねてお願い申し上げます。

第10回定時総会

令和6年度 貸借対照表

(令和7年3月31日現在)

単位：円

科 目	金 額
I. 資産の部	8,829,170
流動資産	8,700,170
現金・預金	8,575,470
現 金	11,372
普通預金	6,193,297
定期預金	2,370,801
売上債権	105,000
未 収 金	105,000
その他流動資産	19,700
前払費用	19,700
固定資産	129,000
無形固定資産	129,000
敷 金	129,000
II. 負債の部	1,418,889
流動負債	1,418,889
未払金	142,689
前受金	1,271,200
預り金	5,000
III. 正味財産の部	7,410,281
前期繰越正味財産	6,916,015
当期正味財産増減額	494,266
負債及び正味財産合計	8,829,170



令和6年度 活動計算書

令和6年4月1日～令和7年3月31日

単位：円

科 目	金 額
経常収益	3,163,130
【受取会費】	192,000
【受取寄付金】	16,600
【事業収益】	2,951,551
わくわくサポート運営	10,400
生活支援事業	619,200
死後事務関係事業	2,239,000
講演会等講師派遣	0
物品販売事業	82,951
【その他収益】	2,979
雑収入	100
その他	2,879
経常費用	2,668,864
【事業費】	1,750,231
人件費	0
業務委託費	133,550
旅費交通費	600,000
通信運搬費	1,900
地代家賃	361,200
支払手数料	352,939
その他	300,642
【管理費】	918,633
人件費計	0
印刷費	13,400
旅費交通費	225,240
通信運搬費	98,829
地代家賃	154,800
租税公課	94,600
その他	331,764
当期経常増減益	494,266
当期正味財産増減額	494,266
前期繰越正味財産額	6,916,015
次期繰越正味財産額	7,410,281

令和7年度 活動予算書

単位：円

金 額
2,607,000
232,000
17,600
2,352,400
18,400
630,000
1,650,000
4,000
50,000
5,000
0
5,000
2,438,500
1,628,400
0
0
320,000
428,000
0
361,200
388,200
131,000
810,100
0
8,000
238,000
96,900
154,800
162,600
149,800
168,500
168,500
7,410,281
7,578,781

令和7年5月17日（土）午後1時、あいあいセンター7階小会議室にて、第10回通常総会が開催されました。開催に先立ち、来賓としてご臨席いただいた、特定非営利活動法人高齢者・障害者安心サポートネット 理事長 豊留様よりご挨拶をいただいた後、辻議長の進行のもと、令和6年度事業報告・決算案、令和7年度事業計画・予算案共に満場一致で承認可決されました。

令和6年度は、コロナウイルス感染症の影響が残る5年度と比較して、数字的には当法人の動きにも明るい兆しが見えた1年でした。しかしながら、私たちの周辺を見回しますと、物価の上昇や実質賃金減少など生活のしづらさが目に見えて顕著になっており、その中で高齢者の意識の変化も変わってきています。これまでの考えに囚われることなく、新たな1年を目指そうとの意思を確認しながら閉会しました。

詳しい決算表をホームページの決算公告のページにアップしております。ご覧ください。

遺品整理顛末記（その2）

前号では、父の遺品を1年かけて処分したお話をしました。今号では、その過程で行った、遺骨の海洋散骨と仏壇の移設そして墓じまいについてお話しします。

【海洋散骨】

大分県佐伯市の海辺で育った父は、生前「帰りたい」と佐伯の海への散骨を希望していました。そのため、予め葬儀の際に分骨を手配し、収骨時に小さな骨壺を用意しました。大分の葬儀社を何件か電話で問い合わせ、自社所有の船舶であり専属の担当者が対応する1社に決めました。使用する船舶は定員10名ほどのボートです。当日は、少し波がありましたが、揺れることもなく無事にお骨を納めることができました。不謹慎な表現ですが、私は最初、お骨がバスクリンみたいにさっと溶けて海が白濁し、じきに透明になると想像していました。ミル状になったとはいえ、お骨が溶けることはありません。海にまいた骨は、一粒一粒、海の底に広がっていく様子ははっきりと見て取れました。一緒に撒いた花弁は、しばらく船から離れることなく浮いていましたが、じきに、潮目に沿って一直線に並んで船から離れていきました。余談ですが、お骨は宅急便で送ることができないことを知りました。

【仏壇移設】

本籍地の佐伯には先祖の墓と仏壇があり、ご長男さん方が守ってあります。実家の仏壇（と墓）は、早くに亡くなった母（父にとっては妻）のために、父と私が新たに用意した物で、祀っているのは私の両親のみです。その仏壇を現在の私の住まいである団地に移動したいのですが、戸建て住居にあった仏壇ではサイズが大きすぎます。ご本尊様と位牌が収まるギリギリのサイズで、横幅で7割程度、高さ9割程度の大きさの仏壇を買い求め、私の住まいに先に準備しました。その後、お寺さんに、実家の仏壇の閉眼供養をまず執り行い、直ちにご本尊と位牌を持って新しい仏壇におさめさせていただき

ました。後日、お寺さんに、新しい仏壇の開眼供養を行っていただきました。宗派によっては、閉眼・開眼供養は不要な場合もあるそうです。家は臨済宗ですのどちらも必要です。

初めての経験

でしたので新たに知ることも多かったです。まず閉眼供養は仏事ですので、お寺さんにはお布施を用意しました。それに対して開眼供養は慶事ですので、お布施ではなく御礼、白い口ウソクではなく赤い口ウソク、紅白のお餅を用意しました。お餅は近所の和菓子屋さんに注文しました。当日の朝に餅をつくのですから、こちらが希望する量（サイズ）を予め注文するのは難しい面もあります（紙面の都合上詳しい理由は書きません）。お寺さんが、「お餅が用意できない場合は、紅白のお饅頭で構いません」と言われた意味がよくわかりました。お陰様で、自宅に仏壇を用意できました。毎朝拝むことができました。…南無釈迦牟尼仏

【墓じまい】

先に述べましたように、お墓には両親のお骨のみが眠っております。これから先、子供たちの負担にならないように、そして彼らが最終的に眠る場所も確保しておくため、お墓から納骨堂へとお納め場所を変更することにしました。幸いお寺さんの納骨堂に空きがありましたので、早々に申し込み移転先を確保した上で、役場に改葬許可申請を行いました。申請書には、お寺さんに新たな納骨堂の使用許可を、墓地の管理会社に埋葬証明をお願いし、実際にお骨の移動を行いました。

お寺さんにお墓の閉眼供養をしていただいた後、骨壺をお墓から取り出しました（取り出し



は管理会社の担当の方がしてくれました)。父の骨壺は、つい最近納めたばかりですが、母の骨壺とは 29 年ぶりの対面です。思ったほどには汚れておりませんでした、骨壺の周りには付着物があります。遠目に見ると、真珠のネックレスで飾られた様に見えるのですが、近くで見るとやはり気味が悪いものです。(表現がよくありません) すぐに濡れタオルで拭きました。おそらく、爬虫類の卵とは思いますが、このまま知らずに入れておくとうなってきたかを考えると、納骨堂に移すのも悪くなかったと正直感じました。そのままお寺さんにお骨を運び、本堂にて供養をしていただいた後、納骨堂に納めました。これで私を含め子供の行き場所を確保できましたし、最終的には永代供養をお願いすることになるのかもしれません。

かかった費用に関心がある方もいらっしゃると思いますので少しだけ。お墓の取り壊しには 1 m² 当たり 10 万円前後が相場ともいわれていますが、私の場合もそんなものでした。ただ、お墓の広さが 5 m² ありました。それに納骨堂の金額プラスお寺さんへのお布施ですね。計算をしてみてくださいね。

以上で前回からの話は終わりです。それなりに金額はかかりましたが無事に済んでほっとしております。…南無 (柳 迫 義 和)



寄付金ありがとうございます

■ 匿名希望 様 2,600円

■ 匿名希望 様 2,000円

(令和7年1月から令和7年6月末まで)

人生の最終段階における医療・ケアに関する意識調査

厚生労働省は、人生の最終段階における医療・ケアに対する意識調査を、平成 4 年度以降 5 年ごとに実施しています。第 7 回の調査結果が発表されています。調査対象者は、一般の国民に加え、医療・介護従事者です。報告書は 96 ページに渡りますが、そのほとんどが、設問ごとに回答数と簡単な解説、グラフを示したもので、ストレスなく読み進めることができます。

同じ設問ながら、一般の国民の回答と医療・介護従事者の回答の違いが分かります。また一般の国民の回答の中でも、「状態の悪化した末期がん」、「状態の悪化した慢性の重い心臓病」、「状態の悪化した認知症」と具体的な場合での、最後を迎えたい場所の設問に対して大きく違うなど、繰り返しページを捲りました。各設問の過去調査の結果も示されていますので、変化も確認できます。

73 ページ以降は、医療・介護事業者のみを対象とした設問で、人生の最終段階における医療・ケアのあり方について専門家としての意見が集約されています。今回の調査は、新型コロナウイルス感染症が流行する中で行われましたので、感染症拡大が ACP (※) に対する考え方へどのような影響を与えたかについての設問が加わっています。

厚生労働省の HP からダウンロードしてください。

(※) 人生会議：アドバンス・ケア・プランニング

正会員・賛助会員大募集！

高齢者や障がい者のサポートに意欲ある人を募集しています

◆正会員 年会費：1 万円

◆◆賛助会員 1 口： 3 千円

Tel : 092-791-3251 Fax : 092-791-3252

Eメール : chiikiseikatsu_0227@yahoo.co.jp

【編集後記】

令和の米騒動(?)が続いています。ついこの間までの野菜の異常な高騰が続き、今度はお米です。以前から、食料の自給率の低さが専門家や評論家の間で話されてきましたが、いよいよ、末端の一般消費者が直接体感する段階になったのでしょうか。そう思えてなりません。(YY)